

## 2025 年度 長岡大学シラバス

| 授業科目名                      | 日本語Ⅲ-1<br>(JapaneseⅢ-1) |                           |             |      |      | 担当教員 | 村越 真紀<br>(ムラコシ マキ) |                        |
|----------------------------|-------------------------|---------------------------|-------------|------|------|------|--------------------|------------------------|
| 2020-23 年度<br>入学者(20K-23K) | 科目コード                   | 科目区分                      | 必修・<br>選択区分 | 単位数  | 配当年次 | 開講期  | 科目<br>特性           | 資格対応科目／知識定着・確認<br>型 AL |
|                            | 2011-0-31-022           | 教 養 科 目<br>( 留 学 生<br>科目) | 必修          | 1 単位 | 3 年次 | 前期   |                    |                        |
| 2024-25 年度<br>入学者(24K-25K) | 科目コード                   | 科目区分                      | 必修・<br>選択区分 | 単位数  | 配当年次 | 開講期  | 科目<br>特性           | 資格対応科目／知識定着・確認<br>型 AL |
|                            | 2411-0-31-020           | 教 養 科 目<br>( 留 学 生<br>科目) | 必修          | 1 単位 | 3 年次 | 前期   |                    |                        |

|   |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|
| ① 授業のねらい・概要   |  |  |  |  |  |
| 日本語能力試験（JLPT）N1 に合格することを目指す。<br>卒業論文やレポートを書くために必要となる読解力と作文力の養成に力を入れる。<br>N1 レベルの語彙を習得する。  |  |  |  |  |  |
| ② ディプロマ・ポリシーとの関連  |  |  |  |  |  |
| 職業人として通用する能力、コミュニケーション能力  |  |  |  |  |  |
| ③ 授業の進め方・指示事項   |  |  |  |  |  |
| 状況によって、試験のやり方が変わる。詳しいことは試験の前に説明する。<br>毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストを行う。宿題なることもある。<br>授業の前：次の授業にそなえて準備しておくこと。<br>授業の後：授業の内容を確認すること。<br>教室では、母語や英語を使わず、日本語で話すこと。<br>授業はすべて日本語で行う。  |  |  |  |  |  |
| ④ 関連科目・履修しておくべき科目   |  |  |  |  |  |
| 日本事情 1、日本事情 2、日本語Ⅰ-1、日本語Ⅰ-2、日本語Ⅱ-1、日本語Ⅱ-2 を履修しておくことが望ましい。   |  |  |  |  |  |
| ⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。  |  |  |  |  |  |
| 福岡理恵子他（2011）『新完全マスター読解 日本語能力試験 N 1』スリーエーネットワーク  |  |  |  |  |  |
| ⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。  |  |  |  |  |  |
| 友松悦子他（2010 年）『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク<br>二通信子、佐藤不二子（2020 年）『新訂版留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク<br>日本語能力試験問題研究会（2011 年）『日本語能力試験直前対策 N1 文字・語彙・文法』国書刊行会<br>伊能 裕晃他（2011 年）『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N1』スリーエーネットワーク<br>ABK 財団法人 アジア学生文化協会（2014 年）『TRY! 日本語能力試験 N1 文法から伸ばす日本語』アスク |  |  |  |  |  |
| ⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）  |  |  |  |  |  |
| 積極的に授業に参加してください。<br>授業時間以外にも、自分で勉強してください。   |  |  |  |  |  |
| ⑧ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安   |  |  |  |  |  |
| ( i ) 日本語能力試験（JLPT）N1 レベルの読解や語彙の問題が、授業でやった範囲内であれば 90% 以上得点できた。<br>( ii ) 身近な社会問題に対し、自分の意見（理由も含めて）を準備し、原稿を見ずに流暢に発表できた。<br>( iii ) 身近な社会問題に対し、ネイティブチェックが無くても、自分の意見（理由も含めて）を適切な構成で 800～1000 字にまとめ、おおよそ意味が通るように書けた。   |  |  |  |  |  |

| ⑨ ルーブリック |                            |                 |                      |                    |                           |
|----------|----------------------------|-----------------|----------------------|--------------------|---------------------------|
| 評価基準     | S                          | A               | B                    | C                  | D                         |
| 評価項目     | 到達目標を越えた<br>レベルを達成して<br>いる | 到達目標を達成し<br>ている | 到達目標達成には<br>やや努力を要する | 到達目標達成には<br>努力を要する | 到達目標達成には<br>相当の努力を要す<br>る |

|   |   |  |  |   |  |
|---|---|--|--|---|--|
| (i)<br>日本語能力試験<br>(JLPT) N1 レベルの<br>読解や語彙の問題が<br>解ける。   | 授業でやった範囲<br>を超えて、N1 レベル<br>の読解等の問題で<br>80%以上得点でき<br>た。  | 授業でやった範囲<br>内の N1 レベルの読<br>解等の問題で、90%<br>以上得点できた。  | 授業でやった範囲<br>内の N1 レベルの読<br>解等の問題で、75～<br>89%得点できた。   | 授業でやった範囲<br>内の N1 レベルの読<br>解等の問題で、60～<br>74%得点できた。  | 授業でやった範囲<br>内の N1 レベルの読<br>解等の問題で、60%<br>以上得点できなかった。   |
| (ii)<br>身近な社会問題に<br>対し、自分の意見を理<br>由も含めて述べられ<br>る。       | 身近な社会問題に<br>対する自分の意見<br>(理由も含む) を、<br>原稿を見ずに流暢<br>に発表でき、質問に<br>も答えられた。                            | 身近な社会問題に<br>対する自分の意見<br>(理由も含む) を、<br>原稿を見ずに流暢<br>に発表できた。  | 身近な社会問題に<br>対する自分の意見<br>(理由も含む) を、<br>原稿を見ずに発表<br>できたが、流暢では<br>なかった。                                   | 原稿を見ながらで<br>あれば、身近な社会<br>問題に対する自分<br>の意見 (理由も含<br>む) を流暢に発表で<br>きた。                                   | 原稿を見ながらで<br>あっても、身近な社<br>会問題に対する自<br>分の意見 (理由も含<br>む) を流暢に発表で<br>きなかった。                              |
| (iii)<br>身近な社会問題に<br>対する自分の意見を、<br>理由も含めて適切な<br>構成で書ける。 | ネイティブチェッ<br>クが無くても、テー<br>マに対する自分の<br>意見 (理由も含む)<br>を、適切な構成で、<br>おおよそ意味が通<br>るように、1000 字以<br>上書けた。 | ネイティブチェッ<br>クが無くても、テー<br>マに対する自分の<br>意見 (理由も含む)<br>を、適切な構成で<br>800～1000 字にま<br>とめ、おおよそ意味<br>が通るように書けた。 | テーマに対する自<br>分の意見 (理由も含<br>む) を 800～1000 字<br>で書けたが、構成や<br>表現についてネイ<br>ティブチェックを 1<br>回受けなければなら<br>なかった。 | テーマに対する自<br>分の意見 (理由も含<br>む) を 500～800 字<br>で書けたが、構成や<br>表現についてネイ<br>ティブチェックを 1<br>回以上受けなければ<br>なかった。 | テーマに対する自<br>分の意見 (理由も含<br>む) を 500 字以上書<br>けず、構成や表現に<br>ついてネイティブ<br>チェックを 2 回以<br>上受けなければなら<br>なかった。 |

| ⑩ 学習到達目標 (評価項目)                                 | 定期試験<br>(レポート含む)      | 小テスト | 課題  | 発表・<br>実技 | 授業への<br>参加・意欲 | その他 | 合計   |
|---|-----------------------|------|-----|-----------|---------------|-----|------|
| 総合評価割合  | 45%                   | 10%  | 15% | 15%       | 15%           |     | 100% |
| (i)<br>日本語能力試験 (JLPT) N1 レベルの読解や語彙<br>の問題が解ける。  | 45%                   | 10%  |     |           | 10%           |     | 65%  |
| (ii)<br>身近な社会問題に対し、自分の意見を理由も含<br>めて述べられる。       |                       |      |     | 15%       | 5%            |     | 20%  |
| (iii)<br>身近な社会問題に対する自分の意見を、理由も<br>含めて適切な構成で書ける。 |                       |      | 15% |           |               |     | 15%  |
| フィードバックの方法                                      | 課題は添削して返す。小テストは採点して返す |      |     |           |               |     |      |

| ⑪ 授業計画と学習課題 |  |   |      |
|-------------|--|---|------|
| 回数          | 授業の内容  | 授業外の学習課題と時間 (分) (※特別な持参物)                                       |      |
| 1           | オリエンテーション<br>自己紹介 (2 分間)<br>春休みについて発表<br>1. 文章の仕組みを理解する①<br>1) 対比<br>例題 1～練習 2 | 2 分間のやや長い自己紹介を準備しておく。春休<br>みについて発表できるように準備しておく。<br>テキストを予習しておく。 | 60 分 |
| 2           | 1. 文章の仕組みを理解する②<br>1) 対比<br>練習 2～練習 4<br>2) 言い換え<br>例題 2                       | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示<br>されたところを予習しておく。<br>スピーチ 1 の準備をしておく。    | 60 分 |
| 3           | 1. 文章の仕組みを理解する③<br>2) 言い換え<br>例題 2～練習 7  | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示<br>されたところを予習しておく。<br>スピーチ 1 の準備をしておく。    | 60 分 |
| 4           | 1. 文章の仕組みを理解する④<br>2) 言い換え<br>練習 8～10  | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示<br>されたところを予習しておく。<br>スピーチ 1 の準備をしておく。    | 60 分 |
| 5           | 1. 文章の仕組みを理解する⑤<br>3) 比喩<br>例題 3～練習 13   | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示<br>されたところを予習しておく。<br>スピーチ 1 の準備をしておく。    | 60 分 |
| 6           | 1. 文章の仕組みを理解する⑥<br>3) 比喩 練習 14<br>4) 疑問提示文<br>例題 4～練習 15                       | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示<br>されたところを予習しておく。<br>スピーチ 1 の準備をしておく。    | 60 分 |
| 7           | 1. 文章の仕組みを理解する⑦<br>4) 疑問提示文<br>練習 15～17<br>スピーチ 1                              | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示<br>されたところを予習しておく。                        | 60 分 |

|    |   |   |      |
|----|---|---|------|
| 8  | 2. 問を解く技術を身に付ける①<br>1) 指示語を問う 例題 5～6、<br>練習 1 8                             | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。<br>スピーチ 2 の準備をしておく。            | 60 分 |
| 9  | 2. 問を解く技術を身に付ける②<br>1) 指示語を問う 練習 1 9～2 1                                    | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。<br>スピーチ 2 の準備をしておく。知識定着・確認型 AL | 60 分 |
| 10 | 2. 問を解く技術を身に付ける③<br>2) 「だれが」「何を」などを問う<br>例題 7、<br>練習 2 2～2 3                | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。<br>スピーチ 2 の準備をしておく。            | 60 分 |
| 11 | 2. 問を解く技術を身に付ける④<br>2) 「だれが」「何を」などを問う<br>練習 2 4、2 5<br>3) 下線部の意味を問う<br>例題 8 | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。<br>スピーチ発表 2 の準備をしておく。          | 60 分 |
| 12 | 2. 問を解く技術を身に付ける⑤<br>3) 下線部の意味を問う<br>例題 8、<br>練習 2 6～2 8                     | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。<br>スピーチ発表 2 の準備をしておく。          | 60 分 |
| 13 | 2. 問を解く技術を身に付ける⑥<br>3) 下線部の意味を問う<br>練習 2 9～3 1                              | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。<br>スピーチ発表 2 の準備をしておく。          | 60 分 |
| 14 | 2. 問を解く技術を身に付ける⑦<br>4) 理由を問う<br>例題 9、1 0<br>練習 3 2～3 3                      | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。<br>スピーチ発表 2 の準備をしておく。          | 60 分 |
| 15 | 2. 問を解く技術を身に付ける⑦<br>4) 理由を問う<br>練習 3 3～3 5<br>スピーチ 2                        | 前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。                                | 60 分 |

|                  |
|------------------|
| ⑫ アクティブラーニングについて |
| 知識定着・確認型 AL      |

※以下は該当者のみ記載する。

|                    |
|--------------------|
| ⑬ 実務経験のある教員による授業科目 |
| 実務経験の概要            |
|                    |
| 実務経験と授業科目との関連性     |
|                    |